



令和3年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

## 長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和3年

No 1 1

12月2日(木)

### 本校生徒の自転車事故が頻発。命を守るため「ヘルメットを着用」しよう。

各クラスのHRで担任の先生から注意喚起していますが、本校生徒の事故が多発しています。昨年度1年間で11件の自転車事故が発生しましたが、今年度4月からすでに22件発生しており、そのうち**11月には5件発生**しています。何度も「事故に注意」と連絡していますが、残念ながら事故は続いています。これらの事故は必ずしも生徒の皆さんに過失があったわけではなく、22件中14件は自動車側(運転手側)に過失があった事故でした。いくら注意しても事故に巻き込まれる可能性があるため、**最悪の事故を避けるための最善の方法は自転車では「ヘルメットを着用」**することです。そこで、ヘルメットを着用している生徒さん(各学年1名ずつ)にインタビューしました。



#### 3年の土屋祐喜さんです。

「1年の時に学校から自転車で帰る際に、SBC通りの車道左側を走行して、信号が青だったので交差点に入りました。対向車線から右折してくる車があったので、慌ててハンドルを右に切って右折車をよけようとしたのですが、他の車に2mぐらい跳ね飛ばされたようです。その時の記憶はなく、気が付いたら道路に座っていました。怪我は足を打ったぐらいでしたが、それから自転車は怖くて半年ぐらい乗りませんでした。しかし通学の上で必要なので、ヘルメットを着用して通学するようにしています。」



#### 2年の中村明日歌さんです。

「自分は自転車の運転が苦手で、特に坂を下る時が怖いのでヘルメットを着用しています。姉妹も事故に遭っている、という事もヘルメット着用理由の理由かもしれません。つい最近、学校からの帰りに長野大通りを下っていく際、交差点で歩道の歩行者に気を取られ、車が左折してくるに気づかず、その車と衝突し打撲を負いました。車はそのまま行ってしまったので、ちょっとパニックでしたが、後で警察の方から当事者が判明した、と聞きました。現場検証の警察の方から『ヘルメットをかぶっていたから大ごとにはなかったですね』と褒められました。」



#### 1年の石井友規さんです。

「自分にとってはヘルメットを着用するのが普通で、兄も長野高校に通う時にヘルメットを着用していました。小学校の時からのためもう10年ぐらいなので、逆にかぶらない事に違和感があります。今年の夏休みの初日にまっすぐな道を走行中、左折する車の運転手が右しか見ておらず、自分と衝突してしまいました。幸い、とっさに自転車から飛び降りたので事なきを得ましたが、小学校の時にも自分がわき見をして自動車に衝突したので、2度あることは3度ある、かもしれないので注意して運転しています。」



(裏に続く……)

長野県警本部から県教委への通知（「高校生に対する自転車用ヘルメット等着用促進について（依頼）」）には、過去5年間の長野県内の事故状況が以下のように示されています。

- ・高校1年生の自転車事故件数は、中学3年生の6倍。
- ・全年齢別でも自転車事故が多いのは、16歳が最も多く、次いで17歳の高校生の年代。
- ・自転車事故当事者のヘルメット着用率は、小・中学生が約70%、高校生が3%。
- ・自転車事故の致命傷の部位は、頭部が約6割を占め、頭部を保護する必要性は極めて高く、県条例でも、自転車利用時は、ヘルメット等の被害を軽減する器具の着用を努めることとされている。

愛媛県の高校では自転車通学の生徒の95%がヘルメットを着用しています。これは2014年に県内の高校生がトラックにはねられて20メートル飛ばされて頭を強打して死亡した事故をきっかけに、ヘルメット着用が義務化された経過があります。そのような悲劇を起こさないように、事前に自身の命を守る、という意味でヘルメットの着用を推奨します。

## 欠席している生徒さん向けの授業同時中継(オンライン)等の対応は終了します。

新型コロナウイルス感染症の陽性者が増加していた夏休み明けの8月末から、多くの先生方には標記の対応をしてもらっています。9月・10月にはワクチン接種及びその副反応等で欠席する生徒の皆さんも多い中、生徒や保護者の皆さんにも評価していただいた方法でした。

この対応を今回終了するのは設備的な理由によるものです。オンライン等の必要性が指摘されている中、実際には現在でも教員用のタブレット等の配備がない状況です。従前の『学校長だより』では「教員用のタブレットがある」とお伝えしていましたが、これらのタブレットは、本来は生徒用に県教委から配備されたものです。しかし、1学年全員分の数量がないため、学年生徒全員で使用する事はできませんでした。そこで本校では、これらのタブレットを先生方に使用してもらい「オンライン授業」や「授業での生徒 iPad 活用」を図ってきました。

しかし、すべての県立高校でタブレット活用、という課題への対応のため、全県の中で経済的な困難を抱えている生徒さんへの「貸与型端末（タブレット）」を用意するため、従前に各校に配置したタブレットを再配置する、ということになりました。そこで本校に配置されていたタブレット（現在は生徒ではなく先生が使用している）を他校に再配置する、ということになりました。

現在、先生方の中で、授業中に生徒の皆さんのタブレットとやり取りするためのタブレット1台、さらに授業同時中継（オンライン）のためにタブレット1台、合計2台を使用する、という使い方をしている先生方もいます。前述のような経緯で、授業同時中継用のタブレットは使用できなくなりましたので、残念ですがご理解いただければと思います。

## 連絡です。

- 1 アンケートにご協力頂いた「学校評価」について「令和3年度 学校評価（中間評価）まとめ」（11月22日付）として生徒さんに渡していますのでご覧ください。HPにも掲載しています。
- 2 「学校長だより」No10でお知らせしたように、この通知から「きずなネット」でも配信します。

（生徒の皆さんは、この学校長だよりを読んだあと、保護者の方に渡してください）

